

令和6年度第3回米子市社会教育委員の会 議事録

日 時 令和7年2月13日(木) 午後3時から午後5時

会 場 米子市役所本庁 4階 401会議室

出席者

【委員(順不同)】

ト蔵委員(会長)、内藤委員(副会長)、星野委員、加藤委員、徳永委員、今出委員
(欠席:安部委員、大野委員、藤原委員)

【事務局】

教育委員会 : 浦林教育長、長谷川事務局長
生涯学習課 : 毛利課長、松永担当課長補佐、新見主任
地域振興課 : 毛利課長(兼務)
こども政策課 : 永榮課長、佐藤担当課長補佐(社会教育主事)
人権政策課 : 萩原人権政策監
文化振興課 : 大塚課長
スポーツ振興課 : 成田課長

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長挨拶

4 報告事項

(1) 中国四国社会教育研究大会報告【資料1】

(2) 社会教育委員意見交換会報告【資料2】

(3) 令和7年度 社会教育委員の会実施計画【資料3】

(4) 令和7年度社会教育関連の施策・事業等の情報提供について
(資料説明)

・会長の求めにより、事務局が資料1～3に基づいて説明した。

一 質 疑 一

(委員) 質問というより要望だが、今回中四国大会の報告を事務局でまとめてもらっているが、省略された部分もあり、自分の意図が伝わらないところもある。各委員から提出された報告書そのものを各委員に共有いただきたい。

(事務局) 委員から、報告書の共有の要望があった。各委員からの同意があれば、報告書を共有させていただこうと思うが、よろしいか。

(各委員) 異議なし。

(事務局) それでは、研修会の参加報告は、今後各委員へそのまま共有させていただくこととする。今回の中四国大会の報告書は後日共有させていただく。

(委員) 研修会に参加して、「いい話が聞けて良かったです」で終わらないようにしないといけない。学んだことを今後のどう結び付けるかが大事。私は今回の講師の大南さんと井原さんの話が興味深かったと思い、直接メッセージを送って連絡取れるにした。個人個人で動きやすいのが社会教育委員の強みだと思う。行政の方が動きにくいところを、今は個人がつながることができるので、委員としてそういう動きをとっていけるといいのではないかと思う。

5 協議事項

(1) 米子市の社会教育の方向性について【資料4】

(資料説明)

- ・会長の求めにより、事務局が資料4に基づいて説明した。

一 質 疑 一

(委員) 同和推進協議会から選出されている立場としてまちづくりビジョンを見たときに、「人権」が共通する課題、もしくはベースとなるところに「人権」があるように表現されているといいと思う。

(事務局) まちづくりビジョンに対しての社会教育委員の会での議論という形で、担当課には投げかけたいと思う。今日のところは、まちづくりビジョンを踏まえた「社会教育の方向性」の部分に重点を置いてご意見をいただきたいと思う。

(委員) 「米子市のウェルビーイングの実現を目指す」というお題目は大事だが、私が最初にウェルビーイングという言葉聞いた時に、非常に違和感を感じた。その後研修などで理解が出来てきたが、市民にとってわかりやすい言葉・表現をするということが大事である。ウェルビーイングという言葉がよく言われるようにはなってきたが、市民に親しみのある言葉なのかな、もっといい言葉はないのかなということは、よく考え、議論していく必要があると思う。

(委員) “目標”の社会教育の「基盤」という言葉が固い表現だなと感じた。また、社会教育そのものを知らない人が多いので、まず少し市民の方に知っていただく、啓発していくには、分かりやすい表現が大事だなと思う。我々社会教育関係者だけのものにするのではなく、市民のみなさんに知っていただくためのものにするのが大事ではないかと思う。

(委員) 今後、社会教育が重要であるのは間違いないが、その理由は「答えの無い社会で人が生きていくために、新しいことを学び続ける」という社会教育の基本的な部分、自分で学ぶ力・学ぶ意欲が重要ということだと思う。情報さえあれば、あとはやる気に火をつけてあげることができれば、わざわざ講座を受けに行かなくても、有用な情報に

一瞬で辿り着ける世の中になっているので、その道筋をつけてあげることまででよい。あとは、そういう情報に接することができない人、例えば生活が苦しい家庭などでも、情報にアクセスできるような環境を整えてあげることが必要。公民館にいけばインターネットが使えて、コンピュータ1台あれば世界の最先端で学べるチャンスは作れるので、そういうことを伝える機会をちょっと増やすということが、私が社会教育委員としてできることと思っている。今回、社会教育の方向性を出していただいた時に、我々社会教育委員が考えるべきは、この方向性の中で“社会教育委員が何をできるのか”ということをここで議論することが非常に大事。米子市の社会教育の目標を達成するために、社会教育委員は何ができるのか、をみんなで提案できるようになるといいなと思っている。

(委員) この「米子市の社会教育の方向性」を市民のみなさんに少しでもわかりやすい表現にして、私も始めてみようかなと思ってもらえるようなものにできればいいと思うので、みなさんも一緒に考えていただきたい。

(委員) この「米子市の社会教育の方向性」は誰に向けた資料にするのか、という確認をしたい。市民に向けたものにするなら、これだけでは大雑把過ぎるので、社会教育の手引き書みたいなものがあると初心者でも分かると思う。

(委員) 県社会教育課発行の「社会教育委員の手引き」も改定されるので、これも利用できると思う。

(委員) 最終的な目標は、「市民のみなさんが社会教育を実践しながら、ウェルビーイングの実現をする」ということで、それを我々社会教育委員や行政がどう手助けしていくかということだと思うので、そういったものに向けた目標や文言にして、それを使って市民のみなさんに啓発していくということかなと思う。

(委員) 米子市でも、それぞれの地域で社会教育活動をしていらっしゃる市民は非常に多い。その人たちが、自分たちは社会教育活動をしているんだという認識をもたもらえるような問いかけができればいいと思う。

(委員) 徳島大会の神山まるごと高専の大南さんが話をされていたのが、光回線を早い段階から引いたりとか、中心的に取り組むメンバーを30代にするとか、とにかく取組が具体的であることが大事。そういう具体的なことを、米子市の社会教育の方向性にも盛り込めると良い。例えば米子市は電波が非常に強い都市です、とか。ふわっとして具体的な目標がないと、何もしなくても結果は変わらないという方向性になってしまうんじゃないかと思う。何か一つでもいいから具体的なメニューがあると、評価もできるし、非常にわかりやすい資料にもなると思う。

(委員) 社会教育の方向性の資料の中に、何か特化したものがあるといいと思う。例えば、スマホに強い年寄りがいっぱいいるとか。そのために公民館で講座をどんどんやっていく、そこから若者の人材育成につなげていくとか。

(2) 社会教育委員による調査研究等の活動について (提案)

(事務局説明)

社会教育法第 17 条の社会教育委員の職務の一つとして。「調査研究」がある。何かたいそうなことをするというわけではなく、まずは各委員さんの普段の活動の中で何か一つテーマを設定していただき、先ほど説明した「社会教育の視点」をもって活動したり、関わったりする中で、何かしら成果や課題が見えてくると思うので、そういったものを社会教育委員の会で共有していただく。それにより委員の新たな気づきにつながるし、将来の社会教育委員さんの活動のヒントにもなるのではないかと考えた。

全く新しいことを 1 からやろうということではなく、これまでの活動の延長線上でまず来年度、1 年間やってみませんかという提案をさせていただくもの。

一 各委員からひとこと 一

(委員) 私は同推協や小学校の学校運営協議会に関わっているので、地域の皆さんと一緒にやっていきたいという想いがある。今回の調査研究等の活動についての内容であれば、自分にもできそうだなと思っている。

地域の公民館だよりで月 1 回コラム、機関紙をとおして、人権について目に見える形で発信していきたい。また、小学校のゲストティーチャーをする機会をとおして地域の方々に目に見える形で発信していきたい。また、自分で書くだけでなく、いろいろな人に記事を書いてもらうことをとおしてつながりづくりをしていけたらと考えている。

美保の義務教育学校についても、教育委員会におまかせではなくて、自分にできることはなんだろうという意識を常に持ちたい。例えば同推協はこんなことができる、学校運営協議会はこんなことができる、こういう協議を重ねることで、自治会をまたちょっとずつ動かしていき、町全体の活性化につながれば嬉しいなと思う。

(委員) スポーツ推進委員の関係では、ボッチャというパラスポーツを体験しながら人権教育を学んでみようということ公民館に提案している。実際にやってみると、なるほどなと実感できる。つながりという面では、5 月の市民体育館閉館事業でボッチャ大会をしたところ、70 名程度参加いただいた。小学校低学年から高齢者まで、障がいのある方も一緒に同じ目線で競技を行う、こういう交流は今のところあまりない。

スポーツ推進委員の県の実技研修で風船バレーというものを体験した。健常者 4 人、障がい者 2 人の 6 人で競技をするが、アイマスクをしたり、片腕を動かさないようにするなど、障がい者の立場を体験し、周りの人が助けるということをした。こういった体験を広く行っていくべきではなかろうか。

自治会活動では、いろいろな分野を全部やっていく必要があるということ、それが社会教育だということ意識してもらえたらと考えている。自治連合会でも DX について今度 2 月 23 日に研修会も実施するし、中四国大会でも事例発表があったりと、そういう方向に進みつつあると思うので、今出委員のような IT に強い方が前に立って活躍で

きる状況が作れる。自治連でも、社会教育のつながりについて一度研修してみたらどうかかなと思っている。

春日まちづくり協議会の活動は4年目になるが、やはりお金があつてはじめて活動ができる。また、ほたるネット春日という、ホタルを育てて放流し、鑑賞する。春日の小学生は4,50人くらいだが、近隣の巖地区や県地区の方にも参加してもらってやっている。このホタルネット春日の活動をまちづくり協議会の柱として持っていこうと計画している。

(委員) ボッチャはやってみたい。

(地域振興課) ボッチャセットは、寄贈があり各公民館に1セットは設置してある。

(委員) 関係課の方には、社会教育委員が行っている事業・イベントについては情報提供をお願いしたい。事業一覧はいただくが、行ってよいかどうか迷うことがあるため。

(委員)

- ・GIGA スクールの検証が米子市でどうなっているか
 - ・徳島の神山高専とのつながりを強めること
 - ・生成AIでのものづくりをいろいろな人に見せていくこと、
- 以上3点を自分としてはやっていきたい。

(委員)

- ・5番目の柱の「歴史と文化に根ざしたまちづくり」の実現のため、文化協議会としても協力していきたい
- ・フレイル予防について、各公民館に推進するお手伝いができる。
- ・これは希望だが、血圧計が公民館にあるといい。フレイル予防で体操をする前と後に計ることができる。

(委員)

・歴史と文化に根差したまちづくりに関連するが、日野川河口に立っている「ロマンチスト像」という彫刻がある。ここから見る、大山や日野川の眺めは素晴らしく、ここを福生地区の宝として大切にしていきたいという活動を令和6年4月から始めたところ。大人も含めて地域の歴史を知らない現状があるため、石村隆男さんの「弓浜半島物語」等を用いながら、コミュニティ・スクールの取組を通じて子どもたちにも地域の歴史を伝えていきたいと考えている。

(委員)

・彫刻ロードは児童文化センターからコンベンションセンターまでと、皆生にもあるが、市民の皆さんがよく散歩をされ、親しまれていると思う。これも米子市の財産だと思う。

(生涯学習課) 各委員から、令和7年度に取り組みたいことについて発言いただき、まずは1年間やってみるということでよろしいか？

(各委員) 異議なし

(生涯学習課) 社会教育活動を報告・発表する場というのが、県や中四国の研究大会などであるため、委員さん自身でもいいし、面白い取り組みをされている個人・団体をご存じであれば、ぜひ情報提供・ご紹介いただきたい。

本日の「社会教育の方向性」のたたき台をベースに、いただいた意見も踏まえて修正案を作成するので、またご意見をいただけたらと思う。各委員の個人の取り組みについても、この方向性に沿ったものになるようお願いしたい。

6 その他

(人権政策課) 人権施策については、人権施策基本方針推進プランの第3次改定作業を行っており、2月14日からパブリックコメントも募集をしているところ。当然ながら、この人権施策基本方針はまちづくりビジョンとも連動するように作っている。

(文化振興課) 先ほど出た彫刻ロードについては、「歩いて楽しいまちづくり」の一つの項目としてまちづくりビジョンの中にも取り上げている。「歩いて楽しいまちづくり」は文化振興課だけではなく、庁内全体で取り組んでいく課題として考えている。

(スポーツ振興課) ユニバーサルスポーツの中でもボッチャには力を入れており、大会も開催している。ボッチャのセットは貸し出しもできる。

(委員) 指導者の派遣はあるか？

(スポーツ振興課) スポーツ推進委員の中にはボッチャの審判ができるかたもいる。各地域のスポーツ推進委員やスポーツ振興課に相談いただければ、他の地域から指導者や審判を派遣する調整もできると思うので、ご相談いただきたい。条件が揃えばボッチャ協会からも来てくれることがある。

(委員) 今、ボッチャだけがクローズアップされたが、他にもいろんなコース展開ができる。米子南高校の生徒がeスポーツ体験で公民館に出かけたりもしている。

(委員) 歴史や神社をつなぐウォーキングコースを検討している。

(委員) 昨年、アジア博物館で井上コレクションが展示されたり、その向かいには革の美術館である本池美術館がある。このような米子の美術館を拠点として、彫刻ロードと一体となった何かができたらいいなと思っている。

前回の社会教育委員の会で話のあった、委員の増員の件はどうなっているか？

(生涯学習課) 委員の人数を増やすべく準備をしているところ。

(委員) 公募委員も活性化につながるかなと思うので、検討してもらいたい。

7 閉会

以上